

## 2018年 御舟入堀 利活用関係 イベント画像等の資料

- 6月2日視察会「開催結果ご報告」は、別冊ファイル添付
- 塩竈市広報8月号表紙（第71回塩竈みなと祭りサブイベントでの「千賀の浦カヌー体験」紹介記事
- 塩釜商工会議所ニュース6月15日記事（6月2日視察会取材記事）
- 塩釜商工会議所ニュース9月15日記事（会議所議員役員の御舟入堀洋上視察会）
- カヌーとショートクルーズ画像、浦田野々島での「親子で島遊び」画像
- 壁画ライトアップ画像(多賀城市主催) 貞山公園でのイベント画像(貞山運河・御舟入堀プロジェクト主催)
- 貞山橋エリアのイルミネーションテスト画像、千賀の浦北浜マリンベースイルミネーションテスト画像

2018年2月3日 「御舟入堀」



2018年2月3日 「御舟入堀」



# 「御舟入堀」の現状を知る 利活用で復興を 貞山運河で視察会

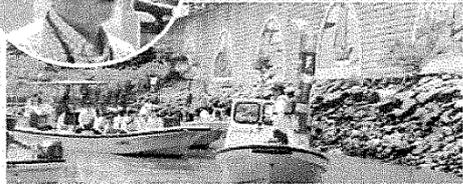
6月2日、貞山運河「御舟入堀」を巡る視察会が開催されました。佐藤昭塩竈市長をはじめ、国や県、関係団体から85名が参加、当所からは桑原茂会頭、三浦一泰専務理事が参加しました。

伊達藩政の時代からの舟運の歴史に目を向け、運河の今後の在り方を考えることを目的としたもので、一般社団法人日本マリン事業部東北支部南地区分会（会長・鈴木雅博(株)くろしお社長）が主催しました。

参加者は、北浜マリンベースから小船に乗り合っ  
て出発、放置艇がずらりと並ぶ様子や新しい防潮  
壁、震災のままの護岸など、約3キロのコースを視  
察しました。舟運の壁画がある多賀城市大代の中峰  
橋の下では、子供たちのカヌーも参加し、記念撮影  
をしました。



◀主催者を代表しあいさつする鈴木雅博東北支部南地区分会長。「これからの運河再生のため、まずは現状を見て下さい」



◀江戸時代の舟運を描いた壁画を見学しました

▶子供たちが漕ぐカヌーの後方には、放置艇が並んでいました



遊ぶことができ、歴史も感じる運河史跡としての利活用など、今後の方向性を感じることが出来た視察会となりました。

なお、宮城県では、10月に仙台市で「全国運河サミットinみやぎ」を開催することとしています。

# 「御舟入堀」の利活用を探る 小舟で貞山運河を巡り現状を視察 役員議員で洋上視察会

8月30日、議員懇談会を開催、洋上視察会として、貞山運河「御舟入堀」を巡りました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、役員議員など38名が出席しました。

まず、マリングート前から小舟に乗り合っ  
て出発し、数多くの放置艇が並ぶ護岸や整備された防潮堤、舟運の歴史にふれることができる壁画などを視察しました。

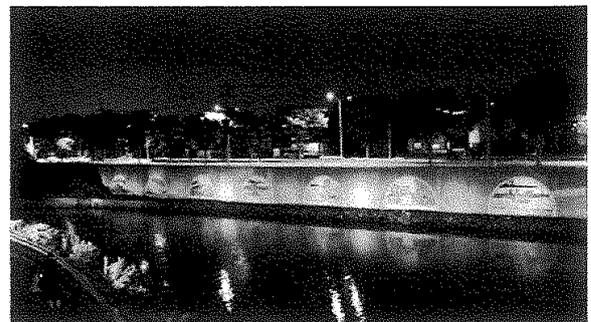


視察後、(株)くろしおの鈴木雅博社長からは、伊達藩政の時代からの舟運の歴史と運河利用の現状や課題、今後の利活用の可能性などについて、説明をいただきました。

参加者からは、「船上から運河を巡ることができたことは、またとない機会で

した。雨模様で急ぎ足になってしまっていて残念でした」などの声がありました。

視察会終了後は、北浜マリンベースの夕日に照らされるオープンデッキで、雨に濡れた洋服を乾かしながら、恒例の意見交換会を行いました。



▲江戸時代の舟運を描いた壁画（多賀城市大代）。今年8月、多賀城市市民文化創造局主催で、ライトアップされました

▶参加者それぞれ小舟に乗り、視察しました。(株)くろしおの鈴木雅博社長から、歴史や現状について説明をいただきました



▲北浜マリンベースで意見交換会を行いました

塩竈みなと祭りサブイベントのカヌー体験



塩竈みなと祭りサブイベントの千賀の浦・御舟入堀ショートクルーズ



ゆめ博協調イベント「塩竈港ポート天国2018」西埠頭会場



ゆめ博協調イベント「塩竈港ポート天国2018」ショートクルーズ



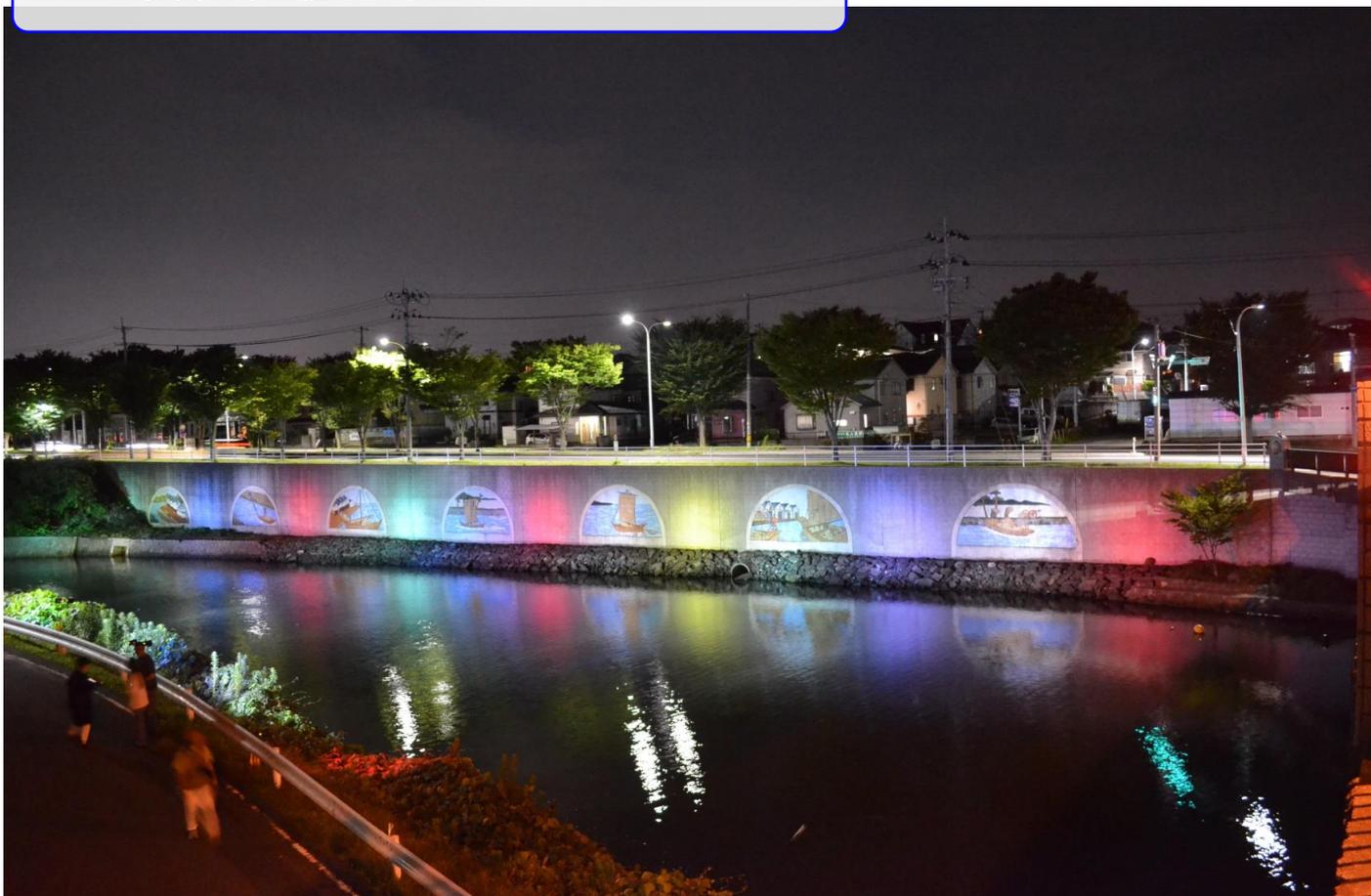
塩竈市浦戸野々島「親子で島遊び」テストイベント



塩竈市浦戸野々島「親子で島遊び」テストイベント ベースの通称「カヌー浜」



多賀城市主催8月の史跡運河のライトアップ



9月、貞山運河「御舟入堀」プロジェクト主催の「運河で乾杯」イベント



参考画像2017年12月 千賀の浦イルミネーションテスト



参考画像2017年12月 御舟入堀イルミネーションテスト

